



2015~16 年度 国際ロータリーテーマ
「世界へのプレゼントになろう (Be a gift to the world)」
RI 会長 K.R. “ラビ” ラビンドラン
2015~16 年度 関ロータークラブテーマ
「 ONE FOR ALL , ALL FOR ONE 」 第50代会長 藤井 淳

第 2395 号

平成 27 年 12 月 1 日 (火)

前例会の記録 第 2394 回 11 月 24 日(火)12:30

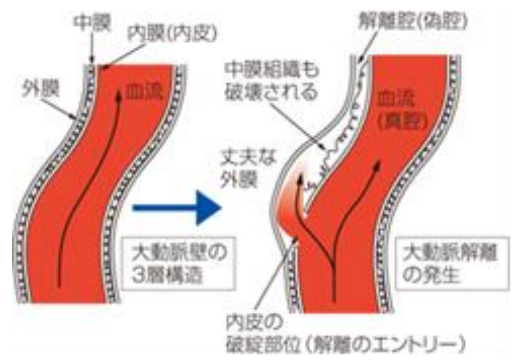
「地区大会の報告」
西村理美さん・掛布真代さん

- ◆開会点鐘
- ◆「四つのテスト」斉唱
- ◆会長挨拶 藤井淳



大動脈が部分的に大きくなったものを大動脈瘤(りゅう)といいます。風船と同じで、小さいときは大きな力を加えないとなかなか大きくなりませんが、いったん大きくなり始めると少しの力で簡単に大きくなっていき、最終的には破裂する危険性があります。有名人では、司馬遼太郎さんや最近では平成26年8月に俳優・画家の米倉斉加年(まさかね)さんが亡くなっていますし、加藤茶さんは大動脈瘤で手術を受けられ御存命です。また先日、11月14日には役者の阿藤快さんが大動脈瘤破裂・胸腔内出血のため急死されました。大動脈瘤の主な種類は3つあります。真性大動脈瘤、仮性大動脈瘤、解離性大動脈瘤の3つです。今日は、最近非常に増えてきた病気である解離性大動脈瘤についてお話します。解離性大動脈瘤(大動脈解離)大動脈の血管の壁は大きく分けると、内膜、中膜、外膜の3層に分けられます。内膜に亀裂ができ、内膜と中膜との間に血液が入り込み、2枚の膜の間が剥がされ、剥がされた部分に血液が入り込み、どんどん解離(裂け目)が広がっていくタイプです。血管が裂けるため、発症時にかなり強い痛みがあります。阿藤快さんも亡くなる数日前に、背中が

痛いと言っていたようです。突然、胸、背中、お腹に耐えられないような痛みがある場合は、解離性大動脈瘤の可能性があるので、すぐに医療機関を受診して下さい。腹部大動脈の正常の太さは1.5~2cmで、1.5倍以上の拡大(すなわち3cm以上)は動脈瘤とされます。4cmまではゆっくりと、4cmを越えると年に0.1~0.5cmずつ拡張し、大きくなるほど破裂の危険が高くなります。一般に腹部大動脈瘤では4cm以上で、胸部では5cm以上の大動脈瘤は手術適応ですが、経過観察中に急速に拡大したり、一部突出した形(嚢状瘤)を呈するもの、小柄な方(正常部の大動脈径が1.5cmくらい)ではそれより小さくても手術を勧めています。万一破裂した場合、急速に1000~2000mlの大出血が起こるので、約1/2~2/3の方はその場で心臓が止まってしまいます。約1/3の方は一旦止血されて病院まで辿り着くのですが、必ず再破裂して重篤なショックとなってしまいます。緊急手術をおこなっても約半分の方は亡くなると言われ、結局、破裂による死亡率は80~90%となります。この数字は欧米でも過去20年間、全く改善されていません。一方、破裂する前に手術すると死亡率は1~4%です。心臓、肺、腎臓に重篤な病気があると、破裂時はショックと出血傾向(心筋梗塞・脳梗塞後に抗凝固剤内服中)などで、ますます助かる可能性が低くなります。それゆえ合併症がいくつあっても、重症であっても、破裂する前に手術の方がより安全と考えています。高齢者における腹部大動脈瘤(AAA)の有病率は思ったより高く、欧米の報告では65歳以上の男性で2.4~16.9%、女性で0.3~2.2%とされています。このAAA形成に最も関連の深い危険因子は喫煙ですが、今回、たばこの成分であるニコチンとの関係を示す興味深い論文が発表されました。AAAの危険因子には高血圧や加齢なども知られていますが、喫煙はこれらより強くAAA発症と関連します。肺癌を除けば、喫煙との相関が最も高い疾患がAAAです。実際、90%以上のAAA患者が喫煙歴を有するといわれています。Maegdefesselらはマウスの実験で、ニコチンの血中濃度が喫煙時と同程度になるように皮下ポンプで持続投与する実験系を



痛いと言っていたようです。突然、胸、背中、お腹に耐えられないような痛みがある場合は、解離性大動脈瘤の可能性があるので、すぐに医療機関を受診して下さい。腹部大動脈の正常の太さは1.5~2cmで、1.5倍以上の拡大(すなわち3cm以上)は動脈瘤とされます。4cmまではゆっくりと、4cmを越えると年に0.1~0.5cmずつ拡張し、大きくなるほど破裂の危険が高くなります。一般に腹部大動脈瘤では4cm以上で、胸部では5cm以上の大動脈瘤は手術適応ですが、経過観察中に急速に拡大したり、一部突出した形(嚢状瘤)を呈するもの、小柄な方(正常部の大動脈径が1.5cmくらい)ではそれより小さくても手術を勧めています。万一破裂した場合、急速に1000~2000mlの大出血が起こるので、約1/2~2/3の方はその場で心臓が止まってしまいます。約1/3の方は一旦止血されて病院まで辿り着くのですが、必ず再破裂して重篤なショックとなってしまいます。緊急手術をおこなっても約半分の方は亡くなると言われ、結局、破裂による死亡率は80~90%となります。この数字は欧米でも過去20年間、全く改善されていません。一方、破裂する前に手術すると死亡率は1~4%です。心臓、肺、腎臓に重篤な病気があると、破裂時はショックと出血傾向(心筋梗塞・脳梗塞後に抗凝固剤内服中)などで、ますます助かる可能性が低くなります。それゆえ合併症がいくつあっても、重症であっても、破裂する前に手術の方がより安全と考えています。高齢者における腹部大動脈瘤(AAA)の有病率は思ったより高く、欧米の報告では65歳以上の男性で2.4~16.9%、女性で0.3~2.2%とされています。このAAA形成に最も関連の深い危険因子は喫煙ですが、今回、たばこの成分であるニコチンとの関係を示す興味深い論文が発表されました。AAAの危険因子には高血圧や加齢なども知られていますが、喫煙はこれらより強くAAA発症と関連します。肺癌を除けば、喫煙との相関が最も高い疾患がAAAです。実際、90%以上のAAA患者が喫煙歴を有するといわれています。Maegdefesselらはマウスの実験で、ニコチンの血中濃度が喫煙時と同程度になるように皮下ポンプで持続投与する実験系を

確立しました。この実験で、ニコチン投与群では非投与群に比べ、腹部大動脈径が有意に拡大したそうです。たばこには400種類もの成分が含まれていますが、少し乱暴な言い方ですが、その中でタールは肺癌のリスクに、ニコチンは依存性の原因になっています。一方、AAA形成の主要リスクは、タールではなくニコチンのようです。大動脈瘤の主な原因として、動脈硬化があります。そしてその動脈硬化の危険因子として、糖尿病だけでなく「耐糖能異常（糖尿病予備軍群）」も、あげられています。喫煙者で糖尿病（糖尿病予備軍）や高脂血症を合併している方は、大動脈瘤のリスクが高くなりますので、十分に注意して下さい。

◆クラブビルダー賞受賞



清水善光さん おめでとうございます

◆委員会報告

◎出席委員会 副委員長 岩倉宏幸

会員 47名中 出席 26名 出席率 59.10%

◎ニコボックス委員会 委員 西本理美

会長・副会長・幹事の皆さん・・・先日の地区大会には、多数の皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。本日はその報告を西本さん、掛布さんよろしくをお願いします。

堀部、長尾、林(昇)、臼田の皆さん・・・掛布さん、西本さん、地区大会参加ご苦労様でした。今日は当日の様子を発表いただけるという事で期待しています。

藤井淳さん・・・バースデーカードをいただきありがとうございました。松岡修三と同じ11月6日生まれです。

◆地区大会の報告 西村理美



11月21日、22日に開催された地区大会の報告を致します。今年の会場は、鈴鹿サーキット 国際レーシングコースエリアです。ホストクラブは、鈴鹿シティRCでした。当日は朝から快晴でとても良い天気でした。道中、東名阪道で事故による渋滞に巻き込まれ不快でしたが、無事会場に着くことができました。途中、三輪幹事、堀部さん、杉浦さんと合流し昼食をとり、会場へと向かいました。会場では、亀井さん、呉紅玲さんと合流しました。午後1時になり、司会者の宣言で開会し、岡田ガバナーによる点鐘ののち、国歌とロータリーソング（奉仕の理想）の斉唱があり、歓迎の言葉を大会実行委員長の伊藤素近氏が述べられ「鈴鹿サーキットは世界で最高峰といわれるF1レースが開催される国際レー

シングコースで、通年とは違う雰囲気です。今年地区大会を楽しんでいただきたい」と歓迎の挨拶がありました。次に岡田ガバナーからご来賓や特別招待者の紹介があり、海外からは韓国3600地区ガバナーの紹介が、さらにガバナー補佐全員の紹介が15分ほどありまして、ガバナーの挨拶が始まりました。今年度のRIテーマ「世界のプレゼントになろう」を目標に一人一人が社会に役立つプレゼントのアイデアを見つけ、ためらうことなく実践に移してください。という内容でした。次に2630地区の現況報告が初井収地区代表幹事からあり、クラブ数は岐阜県45、三重県33の合計78クラブ、会員数は岐阜県1772名、三重県1360名、合計3132名、そのうち女性会員は130名で7～9月の3ヶ月で68名の会員増員という喜ばしい報告がありました。次に、RI表彰、地区表彰があり、我が関RCから、清水善光さんがクラブビルダー賞という大変名誉ある賞を受賞されました。清水さん、おめでとうございます。退会プログラムは順調に進み、少し早めの休憩となりました。休憩時間中サーキット内ではモーターバイクが爆音とともに走行していました。驚きのあまり写真を撮るのを忘れてしまい、悔いだけが残りました。休憩が終わりロータリー財団、米山奨学会の+表彰があり、基調講演と進んでいきました。講師は、第2代米山親善大使の于咏氏（ウ・エイ）、出身は中国で、第1回米山功労者、2760地区の愛知ロータリーEクラブ創立会員であります。基調講演は「報恩、奉仕、繁栄」というテーマで始まりました。報恩とは、感謝の気持ちを持って恩返しをする。奉仕とは、人々の為、社会の為になるという事、繁栄とは、自分、会社、社会の繁栄を目指すという事ですと説明され、米山奨学会事業の在り方についても話されました。米山奨学会は「初心忘れず、感謝をしよう」という定義に基づいて行われています。米山のルーツを探るという観点では、1952年に米山梅吉氏が、のちに古沢文作氏が米山基金を提案し「生きる道は平和しかない。平和な日本を肌で感じ、親善と世界平和に寄与したい」と説き、始まったとい



「生きる道は平和しかない。平和な日本を肌で感じ、親善と世界平和に寄与したい」と説き、始まったとい



う事でした。当時「1カ月に1箱のタバコ代を節約して奨学金に」を合言葉に会員1名あたり月額50円の寄付がなされていた事を話されました。米山奨学生の制度は、だれでも奨学金がもらえるわけではなく、優秀な留学生在が1000人に4人の確率で選ばれ、そのうち3507名が博士号取得者だそうです。学友会とは、学友(奨学期間を終了した元米山奨学生)と現役奨学生によって組織されている会です。社会に出て活躍をし、収入の一部を寄付している学友が多数いるそうです。学友からの寄付は総額2500万円を超えていると報告されました。2012年、60周年にちなんで優秀米山学友賞を設け、80名が受賞、そのうち2名の受賞者が選ばれ親善大使になられたそうです。于咏氏はポリオ撲滅キャンペーンにも参加され、ロータリーでは、自ら成長する事、人々に尽くすことを学び、ロータリーは集大成であること感じ、生涯米山功労賞を目指すという言葉で演説がしめられました。米山記念奨学会の在り方が少しでも理解ができ、今大会に参加させていただき良かったと思います。

◆地区大会の報告 掛布真代



地区大会2日目の報告をさせていただきます。2日目も午前9時から、三重県鈴鹿市の鈴鹿サーキット、センターハウスにて始まりました。私は2日目から参加いたしました。ただ、会場に行きついで率直な感想を申し上げますと、話に集中するのはなかなか難しい環境でございました。センターハウスの壁面は全面ガラス張り

で、もう数メートル下が国際レーシングのコースです。外の景色も非常に良く見えますし、とにかく音が大迫力です。コースでは、1日目は二輪が走っていたと聞いています。2日目は、カートと、レース用の普通車が交互に走っておりました。生まれて初めて本物のレーシングカーが走っているところを生で見ました。感想はさておき、2日目も開会セレモニーの後、ホストクラブ会長の挨拶で幕を開けました。

来賓のご紹介、参加クラブ紹介、その他の方々のご挨拶の後、大会特別委員会報告と、大会決議の採択があり、第10号までの大会決議案が滞りなく採択されました。2日目の目玉である記念講演は、初めての試みとして、パネルディスカッション方式で行われました。パネラーは、多治見市長古川雅典様、高山市長の國島芳明(みちひろ)様、鈴鹿市長の末松紀子様、パスト



ガバナー加賀修様です。内容をかいつまんでご紹介させていただきたいと思います。はじめに、わが町の自慢についておひとりずつ話されました。高山市長は、歴史と文化を支える品格ある市民、文化レベルとバランス感覚を言われました。鈴鹿市は、人口20万、茶の生産は全国3位だそうです。モータースポーツと農業の町をご紹介されました。多治見市長は、粘土鉱山の跡地を活用して、トヨタ紡織やアマゾンなどの企業を誘致している例をご紹介されました。次に、ロータリーに対して抱いているイメージは、という質問が出ました。鈴鹿市長は、お願いするとなんでもやってくれる魔法の杖、だそうです。最近、乳母車のご支援を頂いたそうです。いま、ロータリーに望むものは、という質問に対しては、多治見市長と鈴鹿市長から、人材育成、という答えが出ておりました。自分たちだけではなく、行政やよその組織とも協力して行ってほしい、人口減少していく中で、皆さんがお持ちの幅広い見識、経験を共有して、若い世代に引き継いで欲しい、とのことでした。また、鈴鹿市長からは、行政と民間のスピードの違いを埋めたいと思っていること、やってもらいたい、要望したいことがあるときは、こちらから会いに行くことを心がけている、という発言がありました。だんだん話が盛り上がってきて、多治見市長からは、いまどき「え～、ただいまご紹介にあずかりまして、云々」みたいな話をするようではいかん、と言っておられました。なお高山市長は宴会のはしごをしないそうで、その代わりに、参加した会合にはとことんつきあうそうです。その高山市長からは、ロータリークラブは地域のシンクタンクで、会員の皆さんは経験や知識の量が違う、政策は行政ではなく市民が作るものと考えているので、ぜひお知恵を拝借したい、などというお話がありました。パネルディスカッションは、はじめての試みだったのですが、コーディネーターの方も含めて全員皆さんおしゃべりが大変お上手で、うなりを上げるエンジン音にも負けず、大変面白くまた参考になりました。

次例会のご案内 12月8日(火)12:30
 「関青年会議所について」
 関青年会議所 理事長 大須賀敏様
 担当：会場監督

 例会：毎週火曜日12:30(第3週は水曜日に18:30)
 例会場：岐阜県関市本町6-20 大垣共立銀行関支店2F
 事務局：岐阜県関市平和通7-10-25 アメリア